

平成27年度 自治会アンケート調査 結果

調査票配布数
回 答 数
回 答 率

自治会
145自治会
118自治会
81.4%

地区別回答率（地区別自治会数）

- 1. 平生地区東部地域 (35)
- 2. 平生地区西部地域 (35)
- 3. 大野地区 (25)
- 4. 曾根地区 (24)
- 5. 佐賀地区 (26)

自治会数	%
33	94.3%
27	77.1%
21	84.0%
16	66.7%
21	80.8%

「平生地区東部地域」が94.3%と最も高く、次いで「大野地区」の84.0%となっています。

問1 会長の性別

- 1. 男性
- 2. 女性

人数	%
102人	86.4%
16人	13.6%

「男性」が86.4%と大半を占めています。

問2 会長の年齢

- 1. 20歳代以下
- 2. 30歳代
- 3. 40歳代
- 4. 50歳代
- 5. 60歳代
- 6. 70歳代
- 7. 80歳代
- 8. 90歳代

人数	%
1人	0.8%
2人	1.7%
9人	7.6%
24人	20.3%
48人	40.7%
28人	23.7%
4人	3.4%
2人	1.7%

「60歳代」が40.7%と最も高く、次いで「70歳代」が23.7%となっており、60歳以上が全体の約7割を占めます。

問3 会長の職業（主なもの1つに○をしてください）

- 1. 会社員
- 2. 公務員
- 3. 自営
- 4. 無職
- 5. その他

人数	%
31人	26.3%
8人	6.8%
15人	12.7%
50人	42.4%
14人	11.9%

「無職」が42.4%と最も高く、次いで「会社員」が26.3%と高くなっています。

問4 自治会活動に月に何日ぐらい従事されていますか。

- 1. 3日以下
- 2. 6日以下
- 3. 9日以下
- 4. 10日以上
- 5. 無回答

人数	%
58人	49.2%
32人	27.1%
2人	1.7%
11人	9.3%
15人	12.7%

「3日以下」の自治会が49.2%と最も高く、次いで「6日以下」が27.1%となっています。

問5 自治会の役員構成

- 1. 副会長
- 2. 会計
- 3. 班長
- 4. 会計検査
- 5. その他

人数
53人
51人
303人
55人
40人

班長を設置している自治会が多いです。自治会によっては役員を置かず、会長が1人で業務を担っているところもあります。

問6 自治会、または公民館単位の活動で、住民同士の信頼感や助け合い意識を高めるためにどのようなきっかけがあれば効果的ですか。
(複数回答)

- 1. 行事やサークル、懇親会等、身近な交流や親睦の機会がある
- 2. 地域の公園などを共同で管理する
- 3. 防災や防犯など地域の問題の解決と一緒に取り組む
- 4. 身近なテーマについて一緒に学べる講習会等がある
- 5. 子どもの見守りや高齢者の世話を一緒に行う
- 6. 普段からあいさつや声かけをする
- 7. その他

人数	%
64人	54.2%
28人	23.7%
56人	47.5%
19人	16.1%
25人	21.2%
90人	76.3%
0人	0.0%

「普段からあいさつや声かけをする」が76.3%と最も高く、次いで「行事やサークル、懇親会等、身近な交流や親睦の機会がある」が54.2%となっています。

問7 自治会内で自主防災組織を設立していますか。

- 1. 設立している→問8へ
- 2. 設立していない→問9へ

自治会数
105自治会
13自治会

アンケートを提出していただいた自治会の約70%の自治会で自主防災組織が設立されています。

問8 どのような防災活動を実施していますか。

別紙参照

問9 今後、どのような自主防災活動が必要だと考えますか。

別紙参照

問10 現在、自治会を運営する上で課題となっていること、また、既存の行事のうち、今後継続が困難になると考えられるものは何ですか。

別紙参照

問11-1 現在、職員による広報の送達や地区担当職員制度がありますが、その職員に町の業務等について何か依頼したことがありますか。

- 1. ある (内容は別紙参照)
- 2. ない
- 3. 無回答

人数	%
13人	11.0%
97人	82.2%
8人	6.8%

「ない」が82.2%となっており、依頼していない自治会が多いです。

問11-2 町職員の自治会へのサポートとして、どのようなことを頼みたいですか。

- 1. 行事の企画立案
- 2. 自治会情報誌づくり
- 3. 草刈などの使役
- 4. 会計係
- 5. 自治会役員
- 6. その他
- 7. 無回答

人数	%
18人	15.3%
5人	4.2%
29人	24.6%
2人	1.7%
12人	10.2%
9人	7.6%
43人	36.4%

「草刈などの使役」が24.6%と最も高く、次いで「行事の企画立案」が15.3%と高くなっています。

問12 現在、4地区（平生まち・むら、宇佐木、堅ヶ浜、大野）でコミュニティ協議会が設立されていますが、今年4月から今までの間、あなたの自治会はコミュニティ協議会の行事に参加したことはありますか。

- 1. ある
- 2. ない
- 3. どのような活動をしているかわからない
- 4. 無回答

人数	%
26人	31.7%
43人	52.4%
8人	9.8%
5人	6.1%

「行事に参加したことがない」が52.4%と半数以上の方が参加していません。

問13 今後コミュニティ協議会と協働して、行ったらいいと思う活動や行事があればお書きください。

別紙参照

問14 本町における今後のまちづくりや自治会活動において、ご意見ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

別紙参照

平成27年度 自治会アンケート調査

問8 どのような防災活動を実施していますか

NO.	内容
1	緊急時の連絡体制による避難訓練・炊き出し訓練。
2	防災講演会への出席。
3	避難訓練。
4	年に1回エンジンポンプで放出訓練、炊き出し訓練。
5	昨年度・今年度はなし。一昨年度講習会開催。
6	3年前防災訓練実施。現在地域防災・環境部会だよりをコミュニティ協議会で発行されています。
7	避難経路確認。
8	年1回自主防災訓練行っています。
9	現在は実施していないが、今後ご指導をお願いしたい。(ノウハウ)
10	防災の話について出前講座を行っている。
11	防災袋を各世帯に1個購入。避難訓練の実施。
12	連絡網の作成までを今後実施する。
13	声かけのみ。
14	現時点では何も実施していない。
15	防災連絡網の作成。
16	おのおの人数と電話番号を確認しています。
17	地域の防災訓練等への参加。
18	消火栓の使い方など。
19	施設(G.Hひらお・みんなの家)の防災訓練に参加。
20	緊急連絡網を作成して、すぐに連絡がとれる様にしている。
21	自治会だけではむずかしい。まとまった地域で共同計画が望ましい。
22	連絡網の整備。
23	枯れ草等自主的に清掃しています。
24	話し合い。
25	町の防災訓練に参加する。
26	連絡網の作成。
27	年間を通し、皆が集った時、話し合いやビデオを見ている。
28	地域の防災訓練等への参加。
29	自治体主催の災害対策行事への参加。
30	今年は避難訓練。
31	共同訓練への参加はあるが、自主訓練・活動は今後の課題。
32	特に実施していない、他団体(町等)の訓練に参加。
33	連絡網があるだけで、していない。
34	発電機点検、連絡網作成。
35	防災訓練、講習会への参加。
36	人命救助、防火、炊き出し等の訓練。
37	地区の防災活動に参加する。
38	6月7日の避難訓練に参加。
39	防災訓練に参加。
40	津波の時用で高い所への避難訓練。
41	明神様の草取り作業後に、高潮時の避難場所へ希望者で登る。
42	災害がおきた時の連絡網を作成している。
43	電話連絡。
44	災害時の避難等について話し合いをしている。
45	話し合いをしている程度。
46	消火器取り扱い訓練。
47	道づくりの時に高台と家の側にある溝の土上げをして水路の確保。
48	とにかく安全に配慮して逃げなさいと言ってあります。
49	消火栓にホースを接続して放水訓練。
50	消火設備点検。
51	放水、消火栓のあつかい。
52	年1回の防災。
53	消防ホースの延長、取扱い。
54	特にないが集会で避難場所の確認等は実施。

55	消火栓の取り扱いなどの講習を実施したい。
56	連絡網の整備、消火器訓練、AEDの取扱い。
57	防災活動。
58	避難訓練、救命救急。
59	地区内の見まわり、ポンプの点検。

平成27年度 自治会アンケート調査

問9 今後、どのような自主防災組織が必要だと考えますか

NO.	内容
1	自治会内防犯・防災パトロールの強化をより強くする。
2	大雨時の小川の氾濫。
3	実践的な訓練の実施。
4	避難訓練。
5	自主防災活動は、各自治会でなく、大きなくくり(大字単位)でする方が効果的である。
6	危険箇所の洗い出し。
7	独居老人の方の避難を自治会で考える。
8	災害ケースに対応した継続的な防災訓練。
9	定期的な避難訓練を地区を広範囲で行う。
10	隣近所とのかかわり合い。
11	個人情報保護が邪魔をして各世帯の情報が入りにくい。
12	高齢者の避難方法をどう取り組むかが必要です。
13	地域施設で年2回の防災訓練があり、自治会員の多くが参加し防災意識を高めて行く。自治会報にも防災をスローガンにして防災力を高める。
14	防災訓練等を定期的に行う。実情に合った訓練をする。
15	避難訓練。
16	地域の親睦を深め避難等の際に声をかけ合い避難する。
17	防災用具の確保と保管場所の設置。
18	まずは、意見を収集し組織を設立するかどうか。
19	・自主防災連絡網の充実//緊急連絡先、特に独居者:個人情報保護への対応 ・居住区のハザードマップ《有識者による評価》。
20	連絡網の組織化と火災、水害、地震等の区分が必要。
22	災害に応じた避難、弱者の対応。
23	災害時の高齢者の安全確認及び避難。
24	大雨・台風時、具体的行動マニュアル(避難基準)。
25	避難訓練が必要。
26	避難訓練。
27	火災時用の防火(消火)訓練。
28	日常の自治会の人々の行動を把握する。
29	自治会内での連絡網。
30	町主導の指示。
31	組織化して、定期的に避難訓練の実施。
32	災害時の避難訓練。
33	避難訓練。
34	AEDの使用方法。
35	災害時の避難訓練。
36	消火訓練。
37	救助活動&避難訓練。
38	全員で年2回位防災活動。
39	避難訓練。
40	声をかけ合う事。

平成27年度 自治会アンケート調査

問10 現在、自治会を運営する上で課題となっていること、また、既存の行事のうち今後継続が困難になると考えられるもの

NO.	内容
1	高齢化が進んで自治会の運営が困難。砂防堤の土砂上げが困難。
2	①会合・コミュニケーションを行う集会所がない。②仕事と自治会活動(社協を含む)の両立。
3	行政の手伝いなら理解ができるが、婦人会がない等を理由に関係のない仕事を与えられる。
4	いろんな行事で、若年層の参加者が少なく、どうしたらこれを高められるか、なかなか名案が浮かばないのが悩みの種となっています。
5	高齢化に伴い耕作放棄地の雑草管理が不能になる。山間部の道路脇に不法投棄がある。
6	人がいない。人数が少ない。
7	・高齢化のため自治会内の役員不足(特にコミュニティ協議会の役員)。現役世代は仕事のため、平日などの会議・行事への参加が負担。・空き家増加。
8	若い人の意識が低い(自治会活動に積極的に参加する)、高齢になり自宅近くでないと参加しないと考えている方、自宅からコミュニティ会場まで行くのに国道を渡るのが恐ろしいので参加しない。盆踊り、ゴミ拾い等。
9	自治会の高齢化が進んでいる。自治会間の合併も必要である。
10	若い人が少ない。
11	高齢化が進んでいるので行事への参加が難しくなりつつある。
12	他自治会と同様と思いますが、ますます高齢化が進み自治会長の役をできる人がどんどん減少しております。皆さんの悩みは会長の仕事(事務作業が多い)の負担が大きく自分にできるだろうかと、とても不安に思っておられる方が多い様子です(退職後比較的若い人でも)。輪番制で、誰でも出来る自治会長を目指して行きたいと思います。現役で仕事をしている人は、できるだけ会長職をさけて輪番制にしている。
13	1. 少子高齢化により、行事等の参加率が段々と悪くなっていく 2. 参加者の年齢層が60代～80代であり若い人がいない 3. 息子・娘と同居していても若い人は出て来ない 4. 集会の都度、若い人の参加をお願いするも、全くダメである 5. 高齢者は、何が起こるか分からない為、健康面等心配である 6. 道打ち等、体力的に対応できず不参加となるだろう。現在、不参加者については不参加料を頂いているも、今後、金を払えばいいということとなり、参加の意義を持たなくなる 7. 結局、じり貧となり、いずれ参加者が減少するだろう。
14	行事ではないけど荒地の田が多く秋口になると雑草が繁るので時期になると役場の方で持主に連絡して刈って欲しいと思います。
15	家族構成が不明で、非常時確認が不安。自治会の高齢化と自治会員数の減少。
16	今のところ思いあたりません。
17	草刈について、現在年2回は実施していますが、自宅のまわりだけでもと思いますが、なかなか出来ない。役場をお願いしてもなかなか難しいらしいので…。シルバー人材センターに頼めば会費をあげていかないといけない。
18	高齢者ばかりで何事にも出席者がいない。
20	高齢化に伴い自治会長を担う人がいなくなる。
21	自治会長は回覧板等を配布するだけであり既存の行事はない。今のところ課題といった課題はない。
22	1. 自治会員の7割が70～80代であり、活発な活動が困難である。 2. 年1回(唯一、会員がそろって顔を合す機会)の清掃作業に於いて、高齢のため参加できない世帯が増加傾向にある。近い将来は廃止するか、河川清掃は業者に委託するかということになる。
23	地区内の溝(水路)清掃など、自治会住民の高齢化により作業ができない、参加できない。
24	今、構成員9名で、そのうち派遣社員、単身赴任者が多く世帯をもって実際の活動できる者(妻)が3人しかいないため、一年半に一回は会長をしなければいけないので、精神的負担がある。なので、行事は極力参加せず、連絡や会計、募金集めのみとなっている。
25	自治会員の高齢化に伴い自治会の参加、行動が非常に困難になりつつあり、出来るだけ最小限度の行事参加にとどめて頂きたく思います。
26	H27年度から自治会長を務めているが、H25年度から総ての寄付金を行政協力員が取りまとめた納入を各自で役場や所轄に納めさせている。従って自治会からの成績が存在しない状態になっている。行政協力員が町の事業協力を弱体化している。総会決議で決まったことではあるが、これは独善と考え、次総会では改定発議するつもりです。
27	町報等の回覧物の配布は継続できる。防災を組織的に行うことは難しい。
28	従来通りの事をする限り問題ない。自治会とは何をすべきなのでしょう。このままで良いのか考えています。
29	若い世帯の自治会活動(清掃活動・役員)への参加が消極的。
30	自治会の清掃に年々高齢の人が多くなって出席者が少なくなって来る事です。
31	高齢者のみの世帯も多く、溝掃除など体を使う作業は数少ない若い人(50代、60代)に負担が大きい。
32	高齢化に伴い溝掃除や草刈りが困難になる。
33	この団地は既存の行事等がほとんどないため特になし。
34	実質14世帯で何をすることがないまま何年か過ぎていきます。前にやっていた溝掃除も高齢化が進み(平均年齢50後半～60になっています)最近はやっていません。自治会として何をすることがわからないというのが課題です。
35	側溝の改善(要望済み)、早急の改善を望む。
36	自治会での集まりが1回/年程度である。
37	高齢化により草引き等が難しくなる。

38	アパート内の自治会なので、近所付き合いが全くなく、今後の自治会長を頼みづらい。
39	①若いご夫婦や他から引っ越して来た方等は、なかなか懇親会などに参加してもらえず格差が出ている。②他人とのふれあいをあまり好んでない方が増えているので清掃活動で集まった時、しっかり話し合いをもたなければと考えている。③防災活動でも、何か起こった時、助け合えるのか心配。
40	高齢者、独居老人等が自治会役員になる事がむずかしくなっている。また若い人がほとんどいない。
41	自治会の軒数が減少、8年前23軒→2015年度は18軒、来年度は17軒となる模様。内規で自治会長は年齢順とし、75歳未満を対象としている。5人程度の実働者では行事開催に支障が出るか？活性化のためには、近隣自治会との併合が必要と思われる。
42	自治会長は毎年ごとに交代をしていくので、その年には高齢者女性1名の方もおられるので大変になってくる。
43	高齢化のため、行事の立案が困難。
44	住民の高齢化、世帯数の減少。
45	会員同士の仲間意識の希薄。
46	回覧板を配るだけで精一杯。今まで輪番制だったが、高齢化・ひとり暮らしで自治会長が出来なくなっている。若い世代もいなく、なかなか難しい。それにともない、草刈りなどの共同作業も難しくなる。
47	高齢化。道路、河川等の環境整備。
48	高齢化による力仕事への協力。
49	1. 地区民から要望される道の整備、ゴミの不法投棄への対応、庭木等の落葉、防犯等への影響等苦情処理が多く寄せられ対応に時間を取られる。2. 氏神様の祭り。
50	だんだん高齢化し、自治会活動が困難になってきます。
51	戸数が多いため、全員の意見がまとめるのにくい(全員が集まることのできる集会所がない)。高齢者が多いため、道普請等が困難になりつつある。
54	集金の際、どうしても出て来られない方がおられ、頭が痛い(行事にも全く参加されない)…次回総会で話し合おうと思う。
55	明神様(神社)のお祭り等の行事の継承者が減少し、金銭的にも行き詰まり困難になるのではと心配しています。今すぐと言うわけではありません。将来的にという事です。
56	老齢化。
57	道づくり。田の所有者が荒らし、道の草を刈らない人が出ている。
58	高齢世帯と病人を抱えている世帯が多く、草刈り他行事への参加が困難。今後は益々老齢化が進むので草刈りと祭りへの協力が難しくなると思う。
59	戸数の減少、高齢化により草刈りや溝掃除がますます難しくなる。
60	借家住宅が半数を占めている状況なので、住民同士の交流が第一の課題ではないかと思えます。
61	災害時の連絡体制、避難場所の指定はしているが、消火活動や緊急避難訓練の実施が必要だと考える。
62	自治会の高齢化が進んでおり、自治会が成り立たなくなるのでは…と危惧しています。
63	①役員選任方法 ②自治会内一斉清掃参加者の減少。
64	・年配の人が多いため会長を引き受ける人がいない。・空き家の管理(草刈り等)。
65	ゴミの件等にしても注意してもなおらない。とにかく常識的な事くらい守れるように指導して行きたい。他人のことよりもまず自分を社会の流れに合うよう常識を今流に取り入れ、これから先の自分の姿を見つめ直したいと思えます。
66	女性部(婦人部)が主体の行事に関しては今後困難になる可能性があります。
67	人口減少。
68	・高齢化のため、自治会長の担い手が少ないため会長に限られている。・道打ち等作業が困難になっている。
69	すでに、特段の事業はしておらず、環境整備について中山間事業で対応している。
70	・若い人がいない。・高齢者ばかりの家庭が殆どで、将来の自治会が心配である。
71	祭り事の継続。
72	自治会長の受け手がない。会長は役場からの配布のみで他はしない。秋祭りも、すでに踊りは出来ない状態。
73	子供の少子化により子供会の継続が出来ない状態である。毎年行事を行っていますが参加人数が少なくなってきました。(高齢化の為)
74	高齢世帯が80%以上。
75	道打ち(草刈り、溝掃除)。
76	世帯数の減少&高齢化。生活空間の環境整備。
77	自治会の人数が今後少なくなるため困難。
78	高齢化。
79	主に草刈り。
80	自治会員の高齢化。盆踊り、夏・秋祭り等の参加者減少。
81	・役員になる人がいない(リーダー)、全員高齢、病気持ちの人等で・12戸(20名)中、活動が出来るような人は4.5名である。4.5名の人も高齢であり活発には活動できない。
82	仕事と自治会活動の両立。若者の減少。

平成27年度 自治会アンケート調査

問11-1 依頼した内容

NO.	依頼した内容
1	街路灯の申請手続き(LEDに切替)。
2	配布物の印刷。
3	金曜日中に回覧したいので総務課に取りに行かせて貰っている。
4	町の広報等封筒の返却。
5	他社のトラックや車の走行の危険など。
6	広報の配布、募金の集金。
7	役場への緊急時の連絡。
8	道の修理。
9	川、道の補修。
10	生活道路の補修工事。

問12 コミュニティ協議会が行った参加した行事

NO.	行事名
1	盆踊り、宇佐木コミュニティ大掃除、協議会出席。
2	防災講演会、盆踊り大会、ゴミ拾い、あいさつ運動。
3	地区一斉清掃、あいさつ運動、盆踊り。
4	盆踊り大会、一斉清掃、国道清掃。
5	盆踊り、ごみひろい活動、あいさつ運動、国道清掃。
6	国道草刈り、挨拶運動、盆踊り他。
7	盆踊り、ごみひろい活動、あいさつ運動、草刈り作業等。
8	コミュニティ協議会近くの清掃2回。
9	ふるさと祭り。
10	ラジオ体操。
11	川の清掃。
12	盆踊り。
13	防災訓練、盆踊り大会。
14	防災訓練、敬老会。
15	防災訓練、炊き出し。
16	盆踊り。
17	防災訓練。
18	防災訓練。
19	防災訓練、盆踊り。
20	ラジオ体操。
21	盆踊り。
22	敬老会。
23	大野防災チャレンジ。
24	敬老会、盆踊り大会。

平成27年度 自治会アンケート調査

問13 今後コミュニティ協議会と協働して、行ったらいいと思う活動や行事。(保健福祉)

NO.	行事名
1	健康教室。
2	自治会の負担が少ない募金活動を考えてほしい。
3	現在のままで良いと思います。
4	独居老人安全確認。
5	若い世代との交流。
6	敬老会。見守り活動(子ども、高齢者)。
7	高齢者や身体障害者も活動しやすくする。
8	車のない人の買い物、通院手段の確保。
9	特定検診の受診徹底。
10	自治会内の独居老人の安否。
11	運動公園周辺の利用促進。

問13 今後コミュニティ協議会と協働して、行ったらいいと思う活動や行事。(環境美化)

NO.	行事名
1	草刈り、道路・溝整備。
2	地域を流れる河川の管理(雑草やゴミ)。
3	県道や町道の草とり→範囲、役割を明確にしていきたい。
4	町一斉のゴミ拾い。
5	町の花壇の草取り、歩道の清掃。
6	隣どうしでのゴミ拾い。
7	町内合同清掃。
8	もう少し、住民の方が関心あるような方法をアピールしてください。(参加しようと思える方法)
9	現在のままで良いと思います。
10	年に何回か自治会で日時を決めて出席できる人が清掃活動を行う様にしたらと思います。
11	団地では年2回草取り作業をしているが回数を増やすと良い。
12	道路のゴミ拾い、国道・県道沿いの雑草。
13	休耕土地。
14	道路・歩道の草刈、空き家対策、空地草刈。
15	犬のフン処理等の徹底。
16	道路沿いの草刈。
17	空き家、荒廃地の管理。
18	県道等の草刈り。
19	溝掃除。
20	空き家、宅地の草刈り。
21	県道沿いの歩道と車道間の除草。
22	草刈り等。

問13 今後コミュニティ協議会と協働して、行ったらいいと思う活動や行事。(地域の親睦行事)

NO.	行事名
1	ふるさとまつり、盆踊り等は継続しています。
2	いこいの家等の有効な活用方法を考える。
3	高齢者向けの行事も考慮したらいかがでしょうか。
4	食事会やバス旅行をする。
5	皆で楽しむレクリエーション、スポーツ、ゲーム、歌。
6	大野公民館で運動会(いろんな人と出逢うため)。
7	八幡宮や水場明神祭りを盛り上げたい。
8	公民館まつり、スポレク大会等へのお誘い。
9	盆踊り、秋祭り(地区地区でなく、佐賀全体での)。
10	祭りの開催。

問13 今後コミュニティ協議会と協働して、行ったらいいと思う活動や行事。(防災防犯)

NO.	行事名
1	防犯パトロール。
2	独居老人宅への声かけ…定期的。
3	自治会及び地域単位の防災訓練(津波、土砂災害等)。
4	自主防災組織の複数での訓練。
5	防災訓練を年2回ぐらい行い意識をたかめる。
6	防災訓練。
7	地域の防災訓練に参加する。
8	団地内の外灯設置。
9	未成年者の相互注意。
10	講師の方や防災のプロの方の直接指導が欲しい。
11	空き家対策。
12	避難訓練。
13	多様化する社会の中において、防災防犯の組織づくり。そして、地区住民の意識を高めること。
14	地域共同の訓練があると参加しやすい。
15	広範囲の方が効果も大と思うので、防災訓練等(避難訓練)。
16	災害に応じた避難のしかた。
17	講習会、訓練等の実施。
18	各自治会ごとにちがうので具体的に訓練を実施してほしい。
19	消火栓の設置、街灯の増設。
20	避難訓練の実施。
21	自治会全体の避難訓練→曾根全体。
22	学校が近いので交通安全等の巡回等。
23	子供の見守り活動。
24	防災活動。
25	器具の取り扱い方等。

問13 今後コミュニティ協議会と協働して、行ったらいいと思う活動や行事。(地域情報発信)

NO.	行事名
1	町や施設の事業に参加の内容を地域に発信。
2	情報の共有という観点からも必要と思う。仲間意識も育つのではないのでしょうか。情報誌の発行等。
3	イノシシがどの自治会まで現れているのか知りたい。
4	年に何回か協議会便りを発行。
5	水害や地震など自然災害の少なさをアピールすべき。

問13 今後コミュニティ協議会と協働して、行ったらいいと思う活動や行事があればお書きください。(その他)

NO.	行事名
1	認知症予防・進行を遅くすることや、運動能力低下の予防の体力づくりの活動。
2	自治会活動とコミュニティ協議会活動がどう協力し合えるのか知りたい。
3	空き家の把握。
4	広報用スピーカーの音声聞き取りにくい。
5	猪対策、竹林対策。
6	地区民から寄せられる苦情の解決。
7	人口増加につながる形で上記1～5を具体化させる行動。

平成27年度 自治会アンケート調査

問14 本町における今後のまちづくりや自治会活動において、ご意見ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

NO.	内容
1	定住化をすすめ、人口減少に歯止めをかけるため、各自治会合同の子供を中心としたイベントを開催する(町民運動会も含め)。
2	自治会活動に若者、子供の参加が少ない。
3	自治会長の用事が多くて忙しい。
4	実際に自治会長をやってみて、自治会とコミュニティ活動を合わせると回数が多いと思います。60代で働いている人や若い人はできない、やらない、と考えている人が多いです。働いている人も職場での負担が多くなっている。現状でさらに自治会、コミュニティの活動に参加するのは益々負担が増すので「やれない」との考えです。活動や行事を増やすのではなく、先に続けたいものに限定してはどうでしょうか。
5	協働のまちづくりについて、まだまだ住民に理解されていない。もっとPRを！
6	1つ1つ決めたことを進めることが大切だと思う。
7	若い方が就労できる場を提供してほしい。少子化対策。
8	赤い羽根募金などの集金方法について・案内は1枚・班は3班 案内が3枚あれば各班長さんに案内を配布して依頼できると思います。
9	近所に家を買って家族で住んでいても自治会に入らず名前もわからない家がある。住民票の届けの手続きの時に自治会の役割(ゴミ収集場の管理、外灯の電気代も支払っているなど…)を話して入会を促してほしい。
10	確かに言われる通り、自治会活動も年々弱くなってきています。何か行事を計画して呼びかけても反応は鈍いですね。役員会も大体4月か年度末の2~3月にするのですが、その時期にこのアンケートを出してもらえると議題にして、もう少し具体的な回答が出来るのではないかと思います。
11	地域の借家やアパートの居住者に対して、自治会長として総てを把握する義務があるのかと考える。どんな人達か判らず気味が悪いが仕方ない。プライバシーの事もあるので余り関わりたくないが殆どの人が自治会の加入を拒むか、広報等は欲しい人もいる。会員以外はあげない。これで良いのだろうか。答えになっていませんが感想です。
12	町内にはすぐれた特技を持った人が多いです。花を咲かせる人、ピアノ等楽器の出来る人等に協力してもらい、もっとアクティブなまちであってほしい。例、田布施町はいろいろ多くのサークルがあります。毎土曜日には老人がストレッチ後、いろいろなスポーツをみんなで楽しんでいます。
13	高齢や闘病等により、留守宅が2軒あり、防火・防犯が心配される。
14	コミュニティ協議会と自治会のつながりが薄い気がします。今年度自治会長になり、また1年で交代になります。自治会の中で長い期間、コミュニティとのつながり役になる人が必要かと思っています。私の所属する自治会で、自治会長とは別にコミュニティ担当を作り、パイプ役になってはどうかと考えています。コミュニティの活動に参加しやすくなるよう呼びかける必要があるかと思っています。
15	・自治会活動などとは関係ないが、広告や「だより」などの紙の無駄が多いと思う。成るべく配布紙を減らし、町の方の負担を減らしてほしい。・4地区(町職員)のコミュニティの方が月1回でも自治会長と会って話をしたい(他の自治会の方との懇親も必要かも)。
16	工場から出る臭いを無臭、無害のものにしたいです。風向きによってはかなりひどく、都会では公害として訴えられるレベルと考えます。平生がもっと住みやすくクリーンな環境になるよう早期に対応をお願いしたいと思います。
17	・若年者が定住できる環境づくり。・町の特色…観光、企画誘致は実現性が乏しい。地震が少ない、台風被害も少ない、温暖な気候である環境⇒ターナー・Jターナー者向けPR。
18	開放的な公園がない。ハートピアランドは山の中で人気がないので少し物騒に感じる。
19	地区の合併の検討。
20	本庁に出向かなくても、大野公民館に専属職員を配置してもらって、すべて対応出来るようにしてもらいたい。(例えば、外灯・活動費の申請⇒総務課、パイロット道路⇒建設課、老人作業所⇒健康福祉課)何がどこかよわからん。(赤十字・赤い羽根の集金、敬老会)婦人会が各自治会にないので自治会長をお願いしている事も。
21	高齢化や過疎により自治会の機能が失われていくことから自治会と行政、自治会とコミュ協の関係をどうしていくか、考えなければならない。
22	空き家が各所で目立ってきています。周囲の環境整備等を持ち主に依頼してほしい。
23	自治会内を見ても、今後空き家が急激に増えると見られます。雑草や台風での家屋の倒壊の発生も考えられます。今後10年後20年後どうなっているかは、ある程度予測はつくと思いますので、その状況への対応を考えておく必要があると思います。
24	隔週金曜日に配達される回覧・広報等を木曜日配達はできませんか？配り物の中にミスプリント等の事項が発生した時、金曜日では翌日が休みのため連絡がとれません。以前配達が夕方になり、配布物にあやまりがあったが、困った事案が発生し、月曜日まで自治会内に配布できませんでした。
25	回覧物の内容が、月2回の必要があまり無い様に思います。月1回でも良いのではないのでしょうか。コミュニティ協議会の活動は、今のままで良いかと思いました。

26	私たち夫婦がこの町へ帰って来て(介護で)10年がたちましたが、婦人会あり、色んなサークルありで、助かりました。初の自治会長で慣れぬゆえ、明神様の仕度の際に失敗したりとおもしろおかしくやらせてもらっていますが、役場の方々もすぐ動いて下さって、とても良い町だと話しております。平生が大好きです。これからもよろしくお願い致します。
27	当地区は交通が不便なので運転できる人以外は行事等への参加・協力が難しいのです。その辺をお汲みとり戴ければと思います。
28	先日の敬老会の出欠用紙の取りまとめについて。取りまとめは婦人会がする事になっていたらしいのですが、案内状には出欠用紙を婦人会又は自治会長へ提出となっていたため、2~3名自治会長へ提出された方もいて、何も知らされていない私共はどこへいつまで持って行くのかわからず、結局その都度役場へ足を運ぶことになりました。前もって文書なりで知らせておいて下されば迷わずに対処できるのではと思いました。今後はよろしく願います。
29	田布施の交流館は賑わっているが、平生は賑わっていないように思う。
30	通学路の路面が暗いので、明るく整備してほしい。
31	自治連合会はまとまっているので、各種行事もスムーズに行っています。
32	川すじの道等に街灯が少なく、安全面で心配があります。暴走行為等も見うけられるので交通面でのパトロール等も必要かと思われます。
33	佐賀地区コミュニティ協議会に参加するのが理想ですが、距離的な問題がどうしても懸念されます。現存の三世代交流収穫祭、道打ち、海岸清掃、盆踊り大会等、尾国地区を挙げての行事、これを継続してゆく事が今の使命と考えます。
34	個人の方が、海岸清掃を毎日していただき、10年になりました。
35	問13に上げられた事を実行することは必要なことであります。しかし、そのことを行動目標としてしまうことで、本質を見失い本来の課題解決に至らない恐れがあります。一番の根本課題は、人口減少にあるわけですから、そのことから目を逸らさず事業を進めた成果として人口数にどれだけ反映できたかをメジャーとして、事業評価する仕組み(共通認識)が必要。
36	各自治会間の情報提供(自治会だよりなど)を通じての横のつながりを持てたらよいと思います。
37	自治会合併は困難。協同作業を考慮中(松本川の掃除のみ)。
38	田、畑、道などイノシシによる被害の為、作物が減少(良い方法は?)。
39	河川の整備他、道路境界部の竹や立木の伐採をお願いしたい。
40	自治会長等の全体会議が年に数回あると現状が良く解かる。
41	農道までにポイ捨てゴミが多い。